



御園小だより

2次元コードを読み取ってもらうと御園小HPにつながります。↑



令和8年1月27日号

伊勢市立御園小学校

発行人 森本一



気持ちを新たに 充実した学期にしよう

一年間のまとめとなる3学期が始まりました。始業式では「あけましておめでとう」の挨拶の由来を紹介し、新たな気持ちで一步踏み出す大切さを伝えました。久しぶりに再会した子どもたちは元気いっぱい、校内のあちこちで明るい新年の挨拶が響いていました。これからは感染症の流行が心配される時期となります。感染症予防をしっかりと行い、充実した学校生活が送れるようにしていきます。ご家庭でも感染症対策にご協力をお願いします。特に6年生は、小学校生活が残り二ヶ月を切りました。6送会、お別れ遠足、卒業式と大きな行事が続きます。感染予防を心がけ、卒業までの一日一日を大切に過ごさせたいと思います。

始業式の様子 Zoom
配信で行いました



4年生 楽しんだストレッチ体験の授業



《令和7年度 児童アンケート・保護者アンケートの結果報告》

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。先般実施いたしました「児童アンケート・保護者アンケート」の結果を教職員全員で分析、共有しましたので、報告します。

【児童アンケートの回答について】

| No. | 質問項目 | 回答 (%) | | |
|-----|--------------------------------------|-----------------------|------|-----|
| | | A+B (昨年度と比しての増減ポイント数) | C | D |
| 1 | 学校は楽しいですか。 | 95.1(+0.8) | 1.5 | 3.4 |
| 2 | 授業はわかりますか。 | 92.6(+1.5) | 5.2 | 2.2 |
| 3 | こまったときには、先生にそくだんできますか。 | 86.1(+8.7) | 12.7 | 1.2 |
| 4 | いっしょに活動できる友だちがいますか。 | 94.8(-0.3) | 5.2 | 0 |
| 5 | 今のクラスはすきですか。 | 96.3(+3.8) | 3.1 | 0.6 |
| 6 | こまっている子に声をかけることができますか。 | 87.0(-0.9) | 10.8 | 2.2 |
| 7 | 自分からあいさつをしていますか。 | 90.4(+0.8) | 8.0 | 1.5 |
| 8 | ろうかを走らない、室内であばれないなどの学校のやくそくが守っていますか。 | 84.8(+6.4) | 13.6 | 1.5 |
| 9 | ほかの子や先生にわかるように、はっきり話をしていますか。 | 88.9(-2.2) | 9.6 | 1.5 |
| 10 | ほかの子や先生の話をしっかり聞いていますか。 | 96.9(+0.6) | 2.5 | 0.6 |

A:「楽しい・わかる・できる」等です。Bは「まあまあできる・まあまあわかる」等です。Cは「あまり楽しくない・あまりわからない」等で、Dは否定形です。

御園小では「あいさつ・チャイム席・下級生を大切にする」の三つを、受け継ぐべき伝統としています。

今回のアンケートでは、「自分からあいさつしていますか」が90.4%、「ほかの子や先生の話をしっかり聞いていますか」が96.9%という高い結果となりました。これは、相手を敬い、場を整えるという「三つの伝統」の精神が、子どもたちの日常の振る舞いとして定着している表れです。こうした落ち着いた環境が、「今のクラスが好きですか(96.3%)」という高い満足度につながっていると考えられます。

特に「チャイム席」については、休み時間に外で元気に遊んでいる子もチャイム前には教室に戻り、授業の冒頭を静かに迎えています。この当たり前のようにして尊い習慣こそが、「授業はわかりますか(92.6%)」という確かな学びを支える土台となっています。また、「こまっている子に声をかけることができますか(87%)」という回答も、伝統である「下級生を大切にする」心の表れです。年下の子や困っている仲間に寄り添う姿勢は、「いっしょに活動できる友だちがいますか(94.8%)」という安心感にもつながっています。

今回、昨年度より8.7%向上したのが「困ったときに先生に相談できる(86.1%)」です。これは、教職員が「一人ひとりに寄り添う」ことを重点に置き、子どもたちの小さな声に耳を傾けてきた成果であると捉えています。今後も信頼関係を深め、より相談しやすい環境づくりを徹底してまいります。

一方で、「ろうかを走らない、室内であばれないなどの学校のやくそくが守られていますか(84.8%)」は、他の項目に比べると低い数値となりました。今後はこの数値がさらに向上するよう、三つの伝統に込められた「自律」の意味を子どもたちと共に考えていきたいと思います。今の良さを自信に変え、伝統を誇りに思える学校づくりを、これからも全教職員一丸となって進めてまいります。



【保護者の皆様からいただいたアンケートの回答について】

| No. | 質問項目 | 回答(%) | | |
|-----|----------------------------------|------------|------|------|
| | | A+B | C+D | E |
| 1 | 学校は、情報を提供している。 | 95.9(+2.2) | 3.1 | 1.0 |
| 2 | 学校は、保護者が行事や授業参観等に参加しやすいように努めている。 | 95.4(+1.7) | 3.1 | 1.5 |
| 3 | 学校は、子どもたちの学力の定着と向上に努めている。 | 90.3(+0.7) | 5.1 | 4.6 |
| 4 | 学校は、子どもたちの健康と安全に努めている。 | 93.3(-1.3) | 3.6 | 3.1 |
| 5 | 学校は、子どもたちの行動に合わせて指導している。 | 83.6(-4.2) | 5.1 | 11.3 |
| 6 | 学校は、お子さんのことについて相談しやすい。 | 87.8(0) | 6.6 | 5.6 |
| 7 | 先生たちは、子どもたちを適切に評価している。 | 87.7(+1.2) | 3.1 | 9.2 |
| 8 | お子さんは、元気に学校生活を送っている。 | 97.4(+2.4) | 0.5 | 2.1 |
| 9 | お子さんは、学校行事に意欲的に取り組んでいる。 | 97.0(+0.3) | 1.5 | 1.5 |
| 10 | お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。 | 69.7(-6.4) | 28.8 | 1.5 |

A:そう思う B:どちらかと言えばそう思う C:どちらかと言えばそう思わない

D:そう思わない E:わからない。

【安心してのびのび過ごせる学校に】

御薦小だより R8.1.27日号1枚目 裏面

今回の結果で最も嬉しく感じたのは、「お子さんは元気に学校生活を送っている(97.4%)」「学校行事に意欲的に取り組んでいる(97%)」という項目がいずれも高い数値を示したことです。特に「元気に学校生活を送っている」という回答は昨年度より2.4%増加しており、子どもたちが学校を「自分の居場所」として捉え、前向きに活動している様子が伺えます。

また、「学校は、情報を提供している(95.9%)」についても前年比2.2%増の評価をいただきました。今後も、学校での様子がより鮮明に伝わるよう、積極的な発信に努めてまいります。



【課題と今後の取り組み】

一方で、課題も見えてきました。「お子さんの行動に合わせて指導している(83.6%)」については、昨年度より4.2%減少する結果となりました。一人ひとりの特性や状況に寄り添った丁寧な支援、声掛けがより一層求められていると真摯に受け止めております。教職員間での情報共有を密にし、「きめ細やかな指導」の充実にさらに力を入れていきます。

【家庭との連携 家庭学習の習慣化に向けて】

最も大きな変化が見られたのは「家庭学習に取り組んでいる(69.7%)」で、昨年度より6.4%の減少となりました。「学校は、子どもたちの学力の定着と向上に努めている(90.3%)」を確かなものにするためには、学校での学びを家庭で定着させるサイクルが不可欠です。家庭学習は、内容の定着だけでなく「自律して取り組む力」を育む大切な時間です。学校でも宿題の出し方や自学の進め方を工夫していくことで、ご家庭でも「机に向かう時間の確保」や「頑張りへの励まし」など、温かなサポートをお願いできれば幸いです。

アンケートでいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、子どもたちがより一層安心して学び、成長できる学校づくりに邁進いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

【保護者アンケートの自由記述の欄に寄せられたご意見、ご要望】

皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望を教職員全員で共有し、今後の教育活動に活かしていきます。自由記述欄の掲載にあたっては、個別のご意見・ご要望は個々に対応し、掲載を控えています。なお、個人の特定を避けるため一部表現を調整しておりますが、それ以外は皆様の思いを正確にお伝えできるよう、原文のまま掲載しております。

(○：保護者様のご意見、◆：本校の取り組みの説明)



○教科書のレベルを上げて欲しい。都会と田舎の学力格差を無くして欲しい。

◆教科書の内容は国の基準で定められておりますが、本校では「教科書を教える」だけでなく「教科書で教える」ことを意識し、より深い学びを目指しています。具体的には、デジタル教材を活用した個別最適な学びや、図書室の資料活用、他地域の学校とのオンライン交流（6年生は外国語でフィリピンの学校と交流しました）などを通じ、広い視野を持つよう取り組んでおります。お子様が将来、どこにいても自信を持って活躍できるよう、日々の授業改善に努めてまいります。

○1年生月曜4限、2年生6限無しなどいらないと思います。逆に足りないと思います。英語でさえ3年生からなんて遅すぎるとさえ思います。

◆1. 授業時数の適正化について 本校では今年度より、文部科学省および県教育委員会の指針に沿って、過度に標準時数を超えないよう教育課程を編成しています。これに伴い、1年生の月曜4限や、2年生の6限授業（5限までの実施）など、昨年度までと異なる時程としました。この見直しの背景には、「授業の量から質への転換」があります。①子どもたち

の集中力の維持：低学年のお子様にとって、長時間の授業は体力的・精神的な負担が大きく、集中力が途切れやすい側面があります。適切な時数に整えることで、1時間ごとの学習の密度を高めています。②確実な定着：授業を詰め込みすぎず、放課後に「自分で学習を振り返る時間」や「心身をリフレッシュする時間」を確保することが、結果として翌日の学習意欲につながると考えています。なお、時数は精選されていますが、標準時数をしっかり確保し、学習指導要領の内容は全て網羅していきます。教職員も授業準備の時間を確保することで、より分かりやすく、深い学びを提供できるよう努めております。

2. 英語（外国語）教育の開始時期について 「英語学習をもっと早くから」というご要望についても、保護者様の先見的なお考えと受け止めております。現在、国の基準では、英語は3年生からの開始と定められています。本校単独で開始学年を早めることは難しいのが現状ですが、低学年においても学級活動や、専科の教員やALTとの触れ合い、上級生による下級生への学習内容の紹介などを通じ、英語や異文化に対して「壁」を作らず、楽しく親しめる雰囲気づくりを大切にしています。

週時程の変更については昨年度にもご案内しましたが、今後も授業参観やたより等を通じて、お子様たちが限られた時間の中でいかに意欲的に学んでいるかを発信していきます。学力向上には学校とご家庭の連携が欠かせません。今後ともご理解とご協力を
をお願い申し上げます。



○宿題は多いほうがいいです。年々、勉強より遊びに夢中になるので…

◆学校としても、家庭学習の習慣化は重要な課題と捉えています。宿題の量については、学年ごとの基準を設けておりますが、物足りないと感じる場合や、より学習を強化したい場合は、ぜひ「自主学習ノート」の活用をお勧めします。自分が興味のある分野や、苦手な漢字・計算を自分で決めて取り組む力は、将来の大きな財産になります。学校でも頑張った自主学習を積極的に称賛し、モチベーションを高める働きかけを継続してまいります。

○学期ごとに長期休暇中の学習強化をしたほうがいいことがあれば便りにして渡してほしい。

◆長期休暇は、これまでの学習を定着させる絶好の機会です。本校としても、お子様が目的意識を持って家庭学習に取り組めるよう、学期末の行事だよりや学年だよりにて、「各学年で重点的に復習すべき内容」や「おすすめの学習方法」を具体的に提示していきます。ご家庭での声掛けのヒントとしてご活用いただければ幸いです。

○iPadに頼りすぎる授業は私はあまり良いとは思わないです。面倒でも時間がかかるっても【書く】ことはとても大切なことかと思います。毎日の予定表や、毎日一言でも日記帳があるとか、書くことから学校が離れないでほしいなど願います。

◆本校でも、鉛筆を動かし、自分の考えを紙に綴る時間は、思考を深めるために欠かせないプロセスであると考えています。現在、授業ではiPadを積極的に活用していますが、漢字練習やノート作りなど、「書く」活動も大切に継続しています。「書く」ことは、単なる記録以上の脳への刺激や、心を落ち着かせる効果があると言われています。便利な道具に頼り切るのではなく、面倒に思えるプロセスの中にこそ学びがあることを忘れずに、日々の指導にあたってまいります。



○今年度の6年生は入学してすぐコロナ生活になり、従来の運動会を一度も経験できず、他の学校生活においても制約が多くだったので可哀想に思います。運動会は現状のやり方が先生方にも保護者にとっても負担が少なくて良い面もあるのでしょうか、とても「運動会」

と呼べないと考えます。学年を越えて応援合戦をしたり、親子競技をしたり、という運動会を味わせてあげたいと考えます。

○運動会が寂しいので以前のように戻して欲しい

○運動会をコロナ前とは言いませんが、チーム対戦にして、子どもが本気で楽しんだりクラスで協力している姿を見せて欲しいです。順位がない徒競走は明らかに手を抜いていて見甲斐がないです

○運動会がコロナ禍以降、体育授業参観となっていますが、運動会として行なって欲しい。

◆本校では現在、以前のようなたくさんの種目で盛り上げる形式ではなく、種目を精選して学年ごとの良さを生かした運動会として実施しています。保護者様から「体育学習参観のようだ」とのご指摘もありましたが、学校としましては、以下の教育的意図を持って現在の運動会を構成しています。



1. 児童一人ひとりの活躍を主役にする構成 以前のような全校一斉・多種目のプログラムでは、一人ひとりの出番が限られてしまう側面がありました。現在は、徒競走や表現運動（ダンス等）をじっくりとご覧いただくことで、お子様の成長をより間近で、確実に見届けていただくことを重視しています。

2. 練習時間の適正化と学習の質の維持 長時間の全体練習による児童の体力的な負担や、他教科の学習時間の確保を考慮し、練習内容を精査しております。派手な演出や複雑な競技を増やすことよりも、体育科の学習成果を精一杯発揮することを主眼に置いています。

3. 安全な実施環境の確保 近年の厳しい気象状況（熱中症リスク）や、会場の混雑緩和を考慮し、児童が安全に、かつ保護者の皆様がゆとりを持って参観いただける現在のスタイルを選択しています。

「競い合う楽しさ」を期待されるお声も大切に受け止め、今後のプログラム構成において、どのように「運動会らしさ」や「意欲を高める工夫」を取り入れられるか、職員間で改めて検討してまいります。

○栗本敦子さんという方の話を聞いて、人権のことを学ぶ機会があれば良いのではと思いました。思いやりの話ではなく。人権リテラシーという本など出されています。マイノリティとマジョリティの話など。



◆ご指摘の「人権リテラシー」とは、単なる思いやりの心だけでなく、社会の仕組みや自分の中にある偏見に気付き、行動する力のことです。多様な価値観が共生する現代において、これは子どもたちにとって不可欠なスキルです。教職員も研修等で学びを深めており、今後、対話型のアクティビティなどを通じて、子どもたちが自分事として考えられる授業づくりに努めてまいります。

○朝の登校可能時間（校庭にいていい時間）を早めてほしい。挨拶活動などをする自治会の協力を得て、見守りをしてもらうことを検討してほしい。県外の学校で親の出勤時間に合わせて対策をしている学校があるので調べて検討してほしい。

◆お仕事の都合や朝の家庭状況など、保護者の皆様が日々、登校時間の調整にご苦労されている背景を重く受け止めております。現在、本校では午前7時40分を昇降口の開錠時間としています。学校が門を開けるということは、その時点からお子様の安全を確保する責任が生じることを意味します。現在、開錠から始業までの時間は、教職員が勤務時間前に自主的にその日の授業準備や児童の健康状態の共有、安全点検を行う時間に当てているのが現状です。この時間に十分な見守り体制を整えることは、現在の勤務時間や教職員数では非常に困難なのが実情です。お子様の安全を第一に考え、「8時前後の到着」をお願いし

ておりますことに、何卒ご理解をいただけますと幸いです。また、「地域の協力による見守り」という具体的なご提案もいただきました。地域の方々が子どもたちの安全を支えてくださることは大変心強いことですが、これはボランティアの方々の負担や責任、万が一の事故の際の補償の問題など、学校単独では判断できない、地域全体に関わる大きな課題を含んでおります。他自治体での先行事例についても研究・情報収集に努めますが、地域組織との協議には慎重なプロセスが必要となります。保護者の皆様の就労状況と学校の安全管理の両立は、社会全体で議論されている大きな課題です。現時点ですぐに時間を早めることは叶いませんが、今後も地域の関係機関や教育委員会と情報を共有しながら、お子様が安全に、安心して登校できる環境づくりを模索してまいります。



○学校や子どものことについて、担任の先生以外にも相談しやすい窓口があるといいです。
◆学校とお子様、そして保護者の皆様との信頼関係を築く上で、話しやすい環境づくりは非常に重要であると考えております。現在、本校では担任以外に以下の職員・窓口でも隨時ご相談を承っております。

- ・養護教諭（保健室）： 体調面や、教室では見えにくい心の変化についてお聞きします。
- ・スクールカウンセラー（SC）： 専門的な見地から、子育てや心理的な悩みについてアドバイスいたします。
- ・教頭： 学校生活全般や手続き、担任に直接伝えにくい内容など、広く対応いたします。「こんなこと、担任の先生以外に聞いてもいいのかな？」と迷われることもあるかと思いますが、心配ございません。学校は「チーム」でお子様を見守っております。より専門的な外部の相談機関につなぐこともできます。お気軽にご相談ください。

○年度初めの書類で、重複した内容（かかりつけ医や緊急連絡先など）を何度も書かなければいけないので、訂正箇所を書き足すとか、書類をまとめるとかしてもらえるとすごく助かると思います。

◆毎年度、多くの書類へのご記入をいただき、多大なご協力をいただいていることに感謝申し上げます。重複する項目の多さについては、学校としても大きな課題と認識しております。本来であれば一括管理が理想ではございますが、「緊急時に担任が即座に持ち出すもの」「養護教諭が管理する保健関係のもの」「教育委員会へ提出するもの」など、書類ごとに用途や保管義務が異なるため、現在の形式をとっております。今後は、少しでも保護者の皆様の負担を減らせるよう、「変更がない場合は訂正印のみで可とする形式への変更」や「デジタル化による情報共有の可能性」について、校内で具体的な検討を進めてまいります。



○授業参観は1限だけだと兄弟のいる保護者（特に3人いると）はじっくり観られないで、最低でも2限は公開して頂けると良いと思います。我が家も1年と6年なので、教室が離れていて大変でした。

◆本校では現在、授業参観を5時間目に設定し、あえて「1時間のみ」の公開をしていることには、以下の2つの目的がございます。

1. 登下校の安全指導・通学路点検の実施 授業参観の日を「親子で一緒に下校する機会」と捉えています。特に近年、登下校時の安全確保が重要視される中、保護者の皆様と一緒に実際の通学路を歩き、危険箇所の確認や防犯意識の共有を行っていただくことを優先しています。そのため、全学年一斉に5時間目で切り上げ、一斉下校の形をとらせていただいております。

2. 児童の集中力と日常の学習リズムの維持 多くの参観者が長時間教室付近にいらっしゃる状況は、児童にとって大きな緊張を伴います。特に低学年の児童や、環境の変化に敏感な児童にとっては、公開時間が長くなることで学習への集中を維持することが難しくなる側面もございます。公開を1時間に凝縮することで、子どもたちが最も意欲的に取り組む姿を集中してご覧いただく構成としております。

今後の対応については、兄弟関係のあるご家庭の「じっくり見たい」というご要望にお応えするため、次年度に向けて以下の工夫を検討してまいります。

①公開時間のスライド設定の検討 同一時間内でも、学年によって「前半15分は奇数学年、後半15分は偶数学年」といった、授業のピークをずらすような時間割構成の工夫。

②動画や写真での共有 参観に来られなかった時間帯の様子を、学級だよりや端末（ロイロノート等）を通じてお伝えする機会の充実。

皆様の安全へのご理解とご協力に感謝申し上げます。



○感染症状況を早めに教えて欲しい【市内の状況】

○インフルエンザなど感染性の風邪に罹患した生徒が数人出てきた場合どのくらいの感染者がいるのか把握しておきたいので情報を公開してほしい。早めに対策意識を持つことで感染を少しでも防げると思う。あと、感染者が数人出た時点で強制的にマスク着用を学校側が促して欲しい。

◆1. 感染症情報の共有について 本校では、市内の流行状況や校内での発生状況を常に注視しております。具体的な人数の公表につきましては、児童の特定（個人情報の保護）を避けるため、一定の基準（学級閉鎖の検討段階など）に達した際に迅速にお知らせする体制をとっています。数名程度の段階で詳細を公表することは、風評被害や登校しづらい環境を生む懸念があるため、慎重に判断しています。今後は、具体的な人数ではなくとも「校内で罹患者が増加傾向にある」といった流行の兆しを、より早めに校支援メールで注意喚起できるよう努めてまいります。

2. マスク着用について 現在、国の方針（文部科学省通知）により、学校におけるマスクの着用は「個人の判断に委ねる」ことが基本となっています。そのため、学校から一律に着用を強制することは控えさせていただいております。しかしながら、感染拡大の予兆がある場合には、「場面に応じた着用を促す（咳・くしゃみがある場合や、密接する活動など）」といった推奨レベルの呼びかけを強化していきます。各ご家庭におかれましても、お子様の体調に応じたご判断をいただけますと幸いです。今後の対応については、①校支援メールによる迅速な注意喚起：「〇年生で増えている」「手洗い・うがいの再徹底」といったメッセージを、発生初期の段階で発信します。②校内環境の維持：適切な換気、共用部分の消毒、手洗い指導など、学校ができる基本対策を改めて徹底いたします。



○修学旅行でブログを随時アップして下さっていたのは、様子がよく分かり安心できました。

◆今後も修学旅行に限らず学校の様子を学校ホームページでお知らせします。ぜひ学校ホームページをご覧ください。

○先生方も日々お忙しい中、子ども達のためにご尽力下さり、ありがとうございます。学校が子ども達にとって安心して過ごせる場であるよう、今後ともよろしくお願ひ致します。



◆教職員への温かなねぎらいのお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からの「ありがとうございます」というお声が、私たちにとって大きな励みとなっております。



学校は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす「生活の場」です。どのお子様にとっても、自分の居場所があり、心から安心して自分らしさを發揮できる場であるよう、教職員一同、今後も一人ひとりの変化に寄り添い、丁寧な指導に努めてまいります。引き続き、温かい見守りとご協力をよろしくお願ひいたします。

学校運営への鋭いご指摘、そして温かい励ましのお言葉をいただき、教職員一同一つひとつの言葉を重く受け止めております。いただいたご要望や改善点については、今後の教育活動や環境整備の中で真摯に対応してまいります。すべてをすぐにかたちにすることは難しい場合もございますが、子どもたちの成長のために「今できる最善は何か」を常に問い合わせていく所存です。学校と家庭は、お子様を共に育てる大切なパートナーです。今後とも、率直なご意見をお寄せいただき、より良い学校づくりへのご協力と連携を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

緊張しながらもがんばった授業参観

授業参観（1月22日）にたくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。お忙しい中誠にありがとうございました。子どもたちのがんばっている姿をご覧いただけたでしょうか。また、下校時には「通学路点検」へのご協力もいただき、「この道はとばしている車がいる。」「ガードレールが必要ではないか。」など、情報をいただきました。点検でお気づきの点がございましたら、遠慮なく学校までお知らせください。



「いじめを許さない」思いでつながろう

1月9日に児童会がいじめをなくす人権集会を行いました。11月にいじめ防止週間があり、毎日ピンクの服を着て活動を盛り上げてくれた先生もいたのですが、残念ながら予定していた人権集会が感染症対策で延期となって、この日になりました。その分、児童会の子どもたちはしっかり準備してすばらしい集会してくれました。児童会のいじめの劇を見た子どもたちは、いじめに「NO」の意思を、ピンクのカードを高くあげて示してくれました。集会後、一人一人がピンクのカードにいじめ反対のメッセージを記入し、「いじめ反対ピンクロード」として廊下に掲示しました。

